

日本英語学会第38回大会（オンライン開催）スケジュール・プログラム

日時：2020年11月7日（土）・8日（日）

会場：Zoomによるオンライン開催

11月7日（土）

10:30～11:30 総会
12:30～18:20 研究発表

11月8日（日）

9:30～11:45 ワークショップ
13:00～15:10 特別講演

11月7日（土）

午前（10:30-11:30）総会・授賞式

午後（12:30-18:20）研究発表

研究発表第1室

- 12:30-13:05 1. 林 慎将 「Immediate Containment」
13:15-13:50 2. 大塚知昇 「項の対併合に関する考察：経験主項と優位性効果の観点から」
14:00-14:35 3. 田中章太 「収束性を伴うフェイズ」
14:45-15:20 4. 三上 傑 「英語の There 受動文が許容する語順パターンに関する通時的変遷と主語移動の適用可能性」
15:30-16:05 5. 北尾泰幸 「英語分裂文における凍結原理」
16:15-16:50 6. 森山倭成 「In-situ focus 文の構造」
17:00-17:35 7. 佐藤亮輔 「ラベル決定アルゴリズムによる日本語の複合語の統語的分析」

研究発表第2室

- 12:30-13:05 1. 早野 薫 「形式と相互行為機能の適合：極性質問に対する応答の拡張に着目して」
13:15-13:50 2. 松田佑治 「as N as 構文のN」
14:00-14:35 3. 本多正敏 「英語の2項名詞句における極度性の役割とその理論的示唆」
14:45-15:20 4. 前澤大樹 「「説得する」類動詞と多重ニ格構文」
15:30-16:05 5. 志村春香 「現在完了進行形のもつ「結果説明的効果」について：認知文法的アプローチ」
16:15-16:50 6. 佐藤らな 「形と意味の“ミスマッチ”を考える：認知文法からみたVすぎる構文」
17:00-17:35 7. 植田正暢 「二重目的語構文が表す事象構造と所有代名詞の指示の関係について」

研究発表第3室

- | | | |
|-------------|-------------------|--|
| 12:30-13:05 | 1. 工藤和也 | 「共合成による同族目的語構文の派生」 |
| 13:15-13:50 | 2. 西原俊明
古川武史 | 「反応目的語構文(ROC)の統語的・意味的特徴について」 |
| 14:00-14:35 | 3. Oda, Toshiko | “Interpretive Economy and presuppositions” |
| 14:45-15:20 | 4. Matsuda, Asako | “Indexical structures of “bound” plurals” |
| 15:30-16:05 | 5. 遠峯伸一郎 | 「近代英語における借用語動詞の受容について -persuade
に焦点を当てて-」 |
| 16:15-16:50 | 6. 平田拓也 | 「対格主語動名詞の史的発達についての一考察」 |
| 17:00-17:35 | 7. 小林亮哉 | 「引用句構文の通時的変化に関する一考察」 |
| 17:45-18:20 | 8. 内田脩平 | 「英語における主格ゼロ関係節の通時的発達について」 |

11月8日(日)

午前 (9:30-11:45) ワークショップ

ワークショップ第1室

- ・統語領域における copy をめぐる諸問題 - copy 派生メカニズムの単純化 (企画者: 宗像孝)

ワークショップ第2室

- ・Case Alternations (企画者: Sumiyo Nishiguchi)

午後 (13:00-15:10) 特別講演

特別講演第1室

- | | |
|-------------|-------------------|
| 13:00-14:00 | 1. 酒井 邦嘉 (東京大学) |
| 14:10-15:10 | 2. 中澤 和夫 (青山学院大学) |

特別講演第2室

- | | |
|-------------|--------------------|
| 13:00-14:00 | 1. 小野寺 典子 (青山学院大学) |
| 14:10-15:10 | 2. 呉人 恵 (富山大学) |

特別講演第3室

- | | |
|-------------|---------------------|
| 13:00-14:00 | 1. 中西 公子 (お茶の水女子大学) |
|-------------|---------------------|